

文化財保護

(1) 文化財保護審議会

ア 委員の構成

(平成30年3月31日現在)

氏名	現職等	氏名	現職等
会田 進	明治大学研究・知財戦略機構 客員研究員	多田井 幸 視	長野市安茂里公民館館長
池 邊 このみ	千葉大学大学院教授	土 本 俊 和	信州大学学術研究院工学系教授
市 澤 英 利	飯田市上郷考古博物館館長	松 崎 憲 三	成城大学名誉教授
入 江 宣 子	民俗芸能学会理事	村 山 由 美	京都大学野生動物研究センター 教授
大 窪 久美子	信州大学学術研究院農学系 教授	山 田 桂	信州大学学術研究院理学系准教 授
小 野 昭	首都大学東京名誉教授	吉 田 ゆり子	東京外国語大学大学院総合国際 学研究院教授
熊 田 由美子	愛知県立芸術大学名誉教授	吉 村 稔 子	神田外語大学外国語学部国際コ ミュニケーション学科教授
佐々木 邦博	信州大学学術研究院農学系教 授		

(任期 平成28年9月20日から平成30年9月19日まで)

イ 会議

(ア) 第1回

- a 期 日 平成29年9月7日
- b 場 所 長野県庁 教育委員会室
- c 審議事項 長野県宝の指定について
- ・小菅の護摩堂
 - ・小菅の講堂
 - ・小菅の仁王門

(イ) 第2回

- a 期 日 平成30年1月25日
- b 場 所 長野合同庁舎別館 大会議室
- c 審議事項 長野県宝等の指定等について
- ・銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像
 - ・木造十一面観音立像
 - ・夜泣き松
 - ・松田家住宅主屋(指定解除)
 - ・松田家斎館(指定解除)

(2) 文化財の指定等

ア 指定等件数

国指定等		国宝・重要文化財	無形文化財	民俗文化財	記念物	登録文化財	重要伝統的建造物群保存地区	重要な文化的景観	その他	計
	指定等	1			[2]	14				15 [2]
	解除									0
県指定等		県宝	無形文化財	民俗文化財	記念物	その他	計			
	指定等	5			1		6			
	解除	3			1		4			

注：[] 書きは追加指定

イ 国指定文化財

種別	指定等年月日	名称	所在地
重要文化財	H29. 11. 28	旧松本区裁判所庁舎	松本市大字島立字新切 2196
史跡 〔追加指定〕	H29. 10. 13	松本城	松本市大手三丁目、城西二丁目、丸の内
天然記念物 〔追加指定〕	H29. 10. 13	志賀高原石の湯のゲンジボタル生息地	下高井郡山ノ内町大字隠字池ノ平
登録有形文化財	H29. 6. 28	寿高原食品四階倉庫	千曲市大字戸倉字大明神 1465-1
		瀧澤家住宅主屋	千曲市大字磯部字石原 122
		瀧澤家住宅土蔵	
	H29. 10. 27	瀧澤家住宅長屋門	
		大嶋家住宅主屋	松本市大字笹賀 4143
		平林家住宅主屋 平林家住宅文庫蔵・塩蔵・漬物蔵	大町市大町 2572-1
	H30. 3. 27	日本聖公会中部教区飯山復活教会	飯山市大字飯山 2278-イ-1
H30. 3. 27	本折井家住宅主屋	松本市白坂 1-81	

		筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所大明神寮	上田市菅平高原 1278-294
		平林家住宅主屋	塩尻市大字広丘原新田字新田 166-1
		旧朝吹山荘（睡鳩荘）	北佐久郡軽井沢町大字長倉字古川 206-1
		旧ジョルゲンセン邸	北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字上陣場 902-9
		旧西川家住宅	北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字上陣場 902-13

ウ 県指定等

(ア) 指定

種別	指定年月日	名称	所在地
県宝	H29. 9. 28	小菅の護摩堂	飯山市大字瑞穂 7053 番地 1
		小菅の講堂	飯山市大字瑞穂 7132 番地 2
		小菅の仁王門	飯山市大字瑞穂 6076 番地 1
県宝	H30. 2. 13	銅像阿弥陀如来及び 両脇侍立像	松本市和田境 1317 番地
		木造十一面観音菩薩 立像	上田市真田町傍陽萩 5921 番地
天然記念物	H30. 2. 13	夜泣き松	下伊那郡大鹿村大字鹿塩 94 番地

(イ) 解除

種別 (解除理由)	解除年月日	名称	所在地
天然記念物 (枯死による)	H29. 9. 28	宮脇のハリギリ	上伊那郡箕輪町東箕輪 64 番地
県宝 (建造物) (国重要文化財 指定による)	H29. 11. 28	旧長野地方裁判所 松本支部庁舎	松本市島立 2196-1
県宝 (建造物) (焼失)	H30. 2. 13	松田家住宅主屋	千曲市大字八幡 3033 番地 25
		松田家斎館	千曲市大字八幡 3033 番地 23

(3) 文化財保護事業

ア 国庫補助事業（県事業）

（単位：千円）

種 別	文化財名称 又は事業名	事 業 内 容	事業者	事 業 費	財 源 内 訳	
					国 庫	県 費
近代和風 建築等	近代和風建 築等総合調 査	伝統的様式や技法 により建てられた 建造物の調査、 報告書作成	長野県	5,196	2,596	2,600
指定文化財	指定文化財 管理	文化財パトロール	〃	1,540	770	770
特別天然 記念物	カモシカ	通常調査 個体群動向調査	〃	9,535	6,356	3,179
埋蔵文化財	大規模開発 事業地内遺 跡等	試掘調査・報告書 作成、出土品保存 処理	〃	2,776	1,388	1,388
合 計 （4件）				19,047	11,110	7,937

イ 国庫補助事業（県事業以外）

（単位：千円）

事 業 区 分	事 業 内 容	事 業 費	財 源 内 訳		
			国 庫	県 費	その他
建造物保存修理等	神明社保存修理 以下10件	360,200	259,760	20,241	80,199
美術工芸品 保存修理等	選定保存技術伝承者養 成	575	575	0	0
重伝建保存修理等	塩尻市木曾平沢伝統的 建造物群保存地区防災 以下8件	106,732	63,191	3,019	40,522
記念物保存整備等	松本城直接買上げ以下 23件	676,681	481,924	4,323	190,434
民俗文化財 伝承・活用等	大鹿歌舞伎民俗文化財 伝承・活用以下2件	4,058	2,000	0	2,058
埋 蔵 文 化 財	松本市市内遺跡保存処 理以下24件	122,354	61,908	400	60,046
計	68件	1,270,600	869,358	27,983	373,259

ウ 県単補助事業

(単位：千円)

事業区分	事業内容	事業費	財源内訳	
			県費	その他
県宝 保存修理等	大英寺保存修理以下10件	117,807	55,575	62,232
県史跡 保存修理等	高遠山古墳保存修理以下2件	6,288	2,408	3,880
県天然記念物 保存整備等	笠取峠のマツ並木保存修理	1,154	381	773
県民俗文化財 保存修理	なし	0	0	0
計	13件	125,249	58,364	66,885

エ 埋蔵文化財包蔵地内で計画された開発事業の件数

県内には14,260か所の埋蔵文化財包蔵地が所在しており、埋蔵文化財包蔵地については、現状保存を基本としているが、包蔵地内で土木工事等開発事業の実施に伴って現状保存が困難な場合には、事前に記録保存を目的とする発掘調査等の保護措置を講じている。

平成29年度における埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等を実施する旨の届出があった総件数は2,681件あり、そのうち発掘調査を指示した件数は324件あった。その概要は下表のとおりである。

(単位：件)

区分	農業 関連	道路 建設	工場 建設	店舗 建設	学校 建設	宅地 造成	公園 造成	個人 住宅	集合 住宅	河川	その他	計
届出 件数	72	138	35	47	23	102	12	1377	245	10	620	2,681
発掘指 示件数	6	29	5	9	5	33	1	88	45	1	102	324

オ 地域で守る伝統芸能（行事）継承モデル事業

(ア) 趣旨

人口減少下においても地域固有の文化・伝統・歴史の結晶である伝統行事（芸能）を次世代に継承するため、国・県指定の無形民俗文化財の宝庫である南信州地域をモデルとして、継承意識の醸成や担い手人材確保等の取り組みを支援する。

(イ) 事業内容

- ・インターネットや刊行物を利用した情報発信
- ・セミナー、講習会等の実施による発表機会の提供
- ・子どもを対象とする体験会、講習会の実施
- ・地区外人材の活用促進
- ・企業等による協力体制の構築

・事業主体

南信州伝統芸能継承推進協議会

(市町村、飯田市美術博物館、伝統行事団体、住民団体、南信州地域振興局ほか)

・補助額 3,000,000円

カ 調 査

(ア) 文化財パトロール

a 趣 旨

文化財の現状を把握し、その管理・保存の指導・助言をするとともに文化財保護思想の普及活動を行う。

b パトロール件数

889 件 (国指定等 442 件、県指定 447 件)

(単位：件)

区 分	建 造 物 美術工芸品	史 跡	名 勝	天 然 記念物	重要埋蔵文 化財包蔵地	計
国指定等	247	74	10	35	76	442
県 指 定	172	131	10	134	—	447
計	419	205	20	169	76	889

c パトロール員

県教育委員会が委嘱、任命した「長野県文化財保護指導委員」20 名

(イ) 埋蔵文化財包蔵地パトロール

a 委 託 先 長野県考古学会

b 委託契約額 560,000円

c 事 業 内 容

県内の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財の収蔵保管状況を把握し、保護を図る資料を得るため、昭和54年度から長野県考古学会への委託により実施している。

平成29年度は、全県を8地区に分け、地区ごとにパトロール員を配置し、収蔵保管施設を含めて560個所のパトロールを実施した。

(ウ) 長野県埋蔵文化財センター受託調査

長野県埋蔵文化財センターは、長野県及び国又は国の機関等が実施する公共開発事業のうち、県教育委員会が必要と認めた事業について、事業者の委託を受けて発掘調査を行う。

事業名	委託事業者	事業個所 (発掘作業期間)	事業内容	事業費 (千円)
中部横断自動車道	国土交通省 関東地方整備局	佐久市 地家遺跡ほか (H13～H27)	整理作業	38,964
一般国道18号 (坂城更埴バイパス)	国土交通省 関東地方整備局	長野市 石川条里遺跡ほか (H25～H30)	発掘作業 整理作業	244,653
一般国道18号 (長野東バイパス)	国土交通省 関東地方整備局	長野市 小島・柳原遺跡群 (H28～H30)	発掘作業	66,442
天竜川下久堅地区築堤護岸工事	国土交通省 中部地方整備局	飯田市 下川原遺跡ほか (H28～H30)	発掘作業 整理作業	54,270
県道高田若槻線	長野建設事務所	長野市 浅川扇状地遺跡群 (H23～H30)	整理作業	38,210
県道箕作飯山線	北信建設事務所	栄村 ひんご遺跡 (H27～H28)	整理作業	27,302
県道中野飯山線		中野市 柳沢遺跡 (H28～H30)	発掘作業	58,590
県道出川双葉線	松本建設事務所	松本市 出川南遺跡 (H25～H28)	発掘作業 報告書刊行	18,123
県道御馬越塩尻線		朝日村 山鳥場遺跡ほか (H28・29)	発掘作業	53,244
リニア中央新幹線	東海旅客鉄道株式会社	飯田市 的場遺跡ほか (H29～)	発掘作業	4,400

(4) 研修事業

ア 文化財保護研修会

(ア) 期日・会場 平成29年11月9日(木)伊那市創造館(伊那市)
平成29年11月10日(金)長野県立歴史館(千曲市)

(イ) 講演 「南信州の民俗芸能と保存継承への取り組み」
民俗芸能学会評議員 櫻井 弘人 氏
「雨乞い神事と人々の願い」
長野県文化財保護審議会委員 多田井 幸視 氏

(ウ) 問題提起 「潮神明宮柴舟の保存・継承」
安曇平のお船祭り調査委員会 卷山 圭一 氏
「大鹿歌舞伎の保存・継承」
大鹿村教育委員会 北村 尚幸 氏
「祢津東町歌舞伎の保存・継承」
東御市教育委員会 堀田 雄二 氏
「五束太々神楽の保存・継承」
五束太々神楽保存会当番会長 江沢 孝憲 氏

- (エ) 事例発表 山形村史談会（山形村）
槻木区地域活性化委員会（茅野市）
砥石米山城跡保存会（上田市）
犀川神社の杜煙火保存会（長野市）

イ 博物館等関係職員研修会

- (ア) 期 日 平成30年2月15日（木）、2月16日（金）
- (イ) 場 所 長野県立歴史館（千曲市）
- (ウ) 講 演 「必要とされるミュージアムをめざして」
日本科学未来館 プログラム企画開発課 長田 純佳 氏
「博物館職員が知っておきたい知的財産」
信州大学 学術研究・産学官連携推進機構／弁理士 柏原 秀雄 氏
「行政職の立場から見た博物館の課題と未来」
安曇野市教育委員会 文化課 課長 那須野 雅好 氏
- (エ) 事例報告 「学芸員としての工夫と苦労」
伊那市立高遠町歴史博物館 学芸員 福澤 浩之 氏
- (オ) 実務研修 「美術・工芸品の取り扱い入門」
長野県立歴史館 主幹・学芸員 林 誠
日本通運株式会社長野支店 専門職員
「甲冑の取り扱い」
真田宝物館 学芸員 降幡 浩樹 氏
日本通運株式会社長野支店 専門職員
「『田中芳男』展と博物館再考」
長野県立歴史館 学芸部長 青木 隆幸

(5) 銃砲刀剣類の登録

登録審査会の開催状況及び登録等の件数は、次のとおりである。(単位：件)

月	登 録 審 査 会		新規登録	登録証再交付
	期 日	場 所		
4	4月12日	佐久合同庁舎	63	0
5	5月25日	県 庁	52	2
6	—	—	—	—
7	7月13日	松本合同庁舎	71	4
8	8月23日	飯田合同庁舎	40	3
9	—	—	—	—
10	10月19日	松本合同庁舎	50	3
11	—	—	—	—
12	12月7日	県 庁	65	6
1	1月23日	松本合同庁舎	54	2
2	—	—	—	—
3	3月15日	県 庁	61	18
登 録 件 数 合 計			456	38

(6) 文化財関係被表彰者（団体）

ア 叙勲、褒章

該当なし

イ 地域文化功労者文部科学大臣表彰

倉石 忠彦

ウ 知事表彰

井原 今朝男

エ 教育委員会表彰

教育関係功労者表彰（文化財保護功労）に掲載

(7) 文化財防災対策等検討委員会

ア 設置目的

県宝「松田家住宅主屋」「松田家斎館」などに大きな被害が出た火災を受け、本県における文化財の防火・防犯、防災対策や災害時の対応すべき事項等を検討する。

イ 委員の構成

氏名	役職等	備考
大澤 佳寿子	伊那市教育委員会生涯学習課主査	
笹本 正治	長野県立歴史館館長	委員長
土本 俊和	長野県文化財保護審議会委員 信州大学学術研究院工学系教授	
中野 亮一	長野県立歴史館学芸部文献史料課長	
原田 和彦	長野市立博物館学芸員	
卷山 圭一	長野県明科高等学校校長	

ウ 検討経過

第1回（10月13日）	第2回（12月7日）	第3回（3月20日）
意見交換	中間報告検討	検討結果報告

エ 検討結果の概要

（ア）基本的な考え方

- ・文化財を火災、災害等から守るための予防や防止の取組みが重要であり、これまでの取組みを充実させて引き続き実施する。
- ・火災や災害時に文化財を救い出すために、県、市町村、所有者等の役割を明確にした上で、平常時から火災や災害時を想定した体制づくりを取り組んでいく。

（イ）今後の文化財の防火、防災対策や災害時の対応すべき事項

- ・日常的な維持管理、文化財保護意識の高揚
- ・所有者が行う防火、防災対策等の支援
- ・平常時から火災や災害時に備えた体制づくり